

〔大分〕当社が44年3月11日から主要機器据付工事を行なっていた九電大分発電所2号（出力25万KW）は、すでに昨年7月31日に完成した同1号機（出力25万KW）に引続き、6月1日から営業運転にはいった。

当社は44年3月11日のヘッダーの吊上げ工事から本格的に2号機の主要機器据付け工事に着手し、

45年1月7

日に火入れ

3月1日に

通汽と予定

工期を2カ

月間短縮して、4月上旬から試運転を進めていた。

同2号の通産省官庁検査は、5月28日から始まり、順調に検査が進み、さる6月1日午後4時、全負荷の出力25万KWで営業運転に入った。

この官庁検査にそなえ、当社では、最終点検を5月19日から、①ボイラバーナーの点検、②外側ケーシングの改造、③燃料系統の点検、④文字記入などの塗装仕上げを行ない、27日は発電所の化粧な

おしをすませていた。

28日から行なわれた官庁検査は、①発電機、変圧機、高圧補機電動機の耐圧試験および密封油装置の保安試験、②電気系統のインターロック試験、③補機関係の最終運転確認試験、④ボイラの安全弁テスト、⑤運転上の保安テストの順に進められ、官庁検査3日目の5月30日には、4

分の1と4分の2のタービンガバナ

ーの負荷試験

31日には4分

の3と全負荷

試験が行なわ

れ、5日には

発電設備の全負荷試験を終えた。

同2号の営業運転開始で、同発電所の建設工事を担当した大分事務所は、1、2号の保修工事に従事することになったわけだが、新産都市大分の工業化促進にも積極的に取り組んでいる。

なお、同発電所建設工事では、第1期、第2期工事と連続して当社が主要機器据付け工事を担当し、昭和43年5月の1号ヘッダー揚げから2年1カ月間で、この2号営業運転開始となった。

## 大分 2号 営業運転開始